

探究①：課題を設定する

「総合的な探究の時間」とは、自身で課題を設定し解決に向けて取り組む学習のことです。探究学習のプロセスは大きく分けて「①課題の設定」「②情報の収集」「③整理・分析」「④まとめ・表現」の4つに分けられます。

この調べ方ガイドでは、「①課題の設定」について、香川県立図書館の資料の中から、参考になる図書をご紹介します。

1 見通しをもつ

探究学習の全体像をつかみ、見通しをもつことで課題を設定するまでの流れや考えるべきポイントをつかむことができます。

探究学習の全体像や探究の過程が分かる図書には次のようなものがあります。

『高校生のための「探究」学習図鑑』 学事出版 2022 (37518 H5)

* 課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の方法を完全図解。

『マイテーマの探し方』 筑摩書房 2021 (37500 K53)

* 探究学習の基礎、マイテーマの探し方など中高生の実例とともに説明。

『プロのプロセス 1』 NHK 出版 2021 (0027 N10 1-1)

* 情報を扱うプロのテクニックのうち「課題のを見つけ方」を収録。

『これから研究を始める高校生と指導教員のために』 共立出版 2013 (0027 S12)

* 研究の進め方・論文の書き方・口頭発表とポスター発表のプレゼン技術を説明。

2 SDGs（持続可能な開発目標）から課題を設定する

SDGsは課題の宝庫です。SDGsの17の目標の中には、環境問題や差別など授業で学習したことがあるものも多く含まれているため、課題設定の参考になります。

SDGsに関する図書には次のようなものがあります。

『すぐわかる・いまできるSDGs』 エクシア出版 2022 (33380 H15)

* 今、日本で起こっている問題を解説し、SDGsとの関連を解説。

『一億人のSDGsと環境問題』 講談社 2022 (5190 F24)

* 日本が実践すべきSDGsについて、日本の環境問題の経緯と現在の状況を解説。

『図解SDGs入門』 日経BP日本経済新聞出版本部 2021 (33380 M25)

* SDGsの指標やターゲットの中から、「今すぐ」取り組める65テーマを集めて紹介。

3 研究事例から課題を設定する

実際の研究事例から、類似・相反する課題を設定することができます。
研究事例に関する資料には次のようなものがあります。

自然科学系（理科や数学など）の研究

- 『もっと知りたい!「科学の芽」の世界』 筑波大学出版会 2022 (4070 K25 1-8)
*小・中・高校生を対象に行われる科学のコンクール「科学の芽」賞受賞作を紹介。
『未来の科学者との対話』 日刊工業新聞社 2019 (4040 K48 1-17)
*「全国高校生理科・科学論文大賞」の受賞作を紹介。
『世界一まじめなおしっこ研究所』 保育社 2017 (4913 K95)
*高校の先生がおしっこについて解説。自由研究課題・実験事例付き。

人文科学系（国語や社会科など）の研究

- 『桃太郎は嫁探しに行ったのか?』 新日本出版社 2022 (38810 K23)
*「図書館を使った調べる学習コンクール」調べる学習部門中学生の部文部科学大臣賞受賞作。
『いろいろあるコミュニケーションの社会学』 北樹出版 2020 (36145 A22 1-2)
*コミュニケーションの具体例とその社会的な考え方の解説。卒業論文のイメージ付き。
『なんでも学べる学校図書館』をつくるブックカタログ&データ集』 少年写真新聞社
2017 (0170/K9/1-2)
*探究学習のテーマのうち、生徒に人気の50テーマを紹介。

4 発想を広げる

大まかなテーマが定まっている場合や学校から指定がある場合には、発想を広げることで、課題を設定しやすくなります。

考えるための技法に関する図書には次のようなものがあります。

- 『アイデアはどこからやってくるのか』 CCCメディアハウス 2017 (1415 K25 1-2)
*アイデアを生み出す要素とアイデアの数を増やす方法などを解説。
『発想法の使い方』 日本経済新聞出版社 2015 (33604 K18 2)
*使える発想手法から10種を厳選し、使い方を詳しく解説。
『ビジュアルアイデア発想フレームワーク』 日本経済新聞出版社 2014 (1415 H19)
*役立つ思考ツールの総カタログ。

香川県立図書館



〒761-0393 高松市林町 2217-19

TEL : 087-868-0567